

小学校 4年 国語科

考える × 読む書く

育成したい
国語力

部分、部分の中心点をとらえ、それらをつながりながら全体の意味を読む。
複数の内容を関連付け、中心点を明確にして書く。

単元名

だんらくごとにまとめながら読もう 「夜に鳴くセミ」 「リサイクルよりたいせつなもの」

本時の目標

問題づくりを通して内容の把握をする。(読む能力)

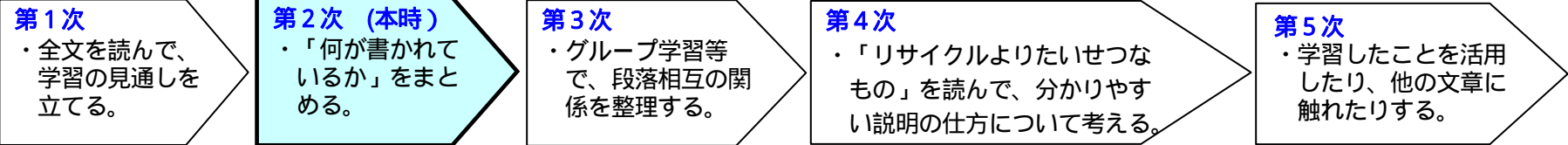
教材等の例

予想される「質問と解答」の一例
(例)
Q ニイニゼミが、住みにくくなったのはなぜでしょう。
A ニイニゼミは、しっ気のある土を好みますが、最近土がかわいてきたからです。

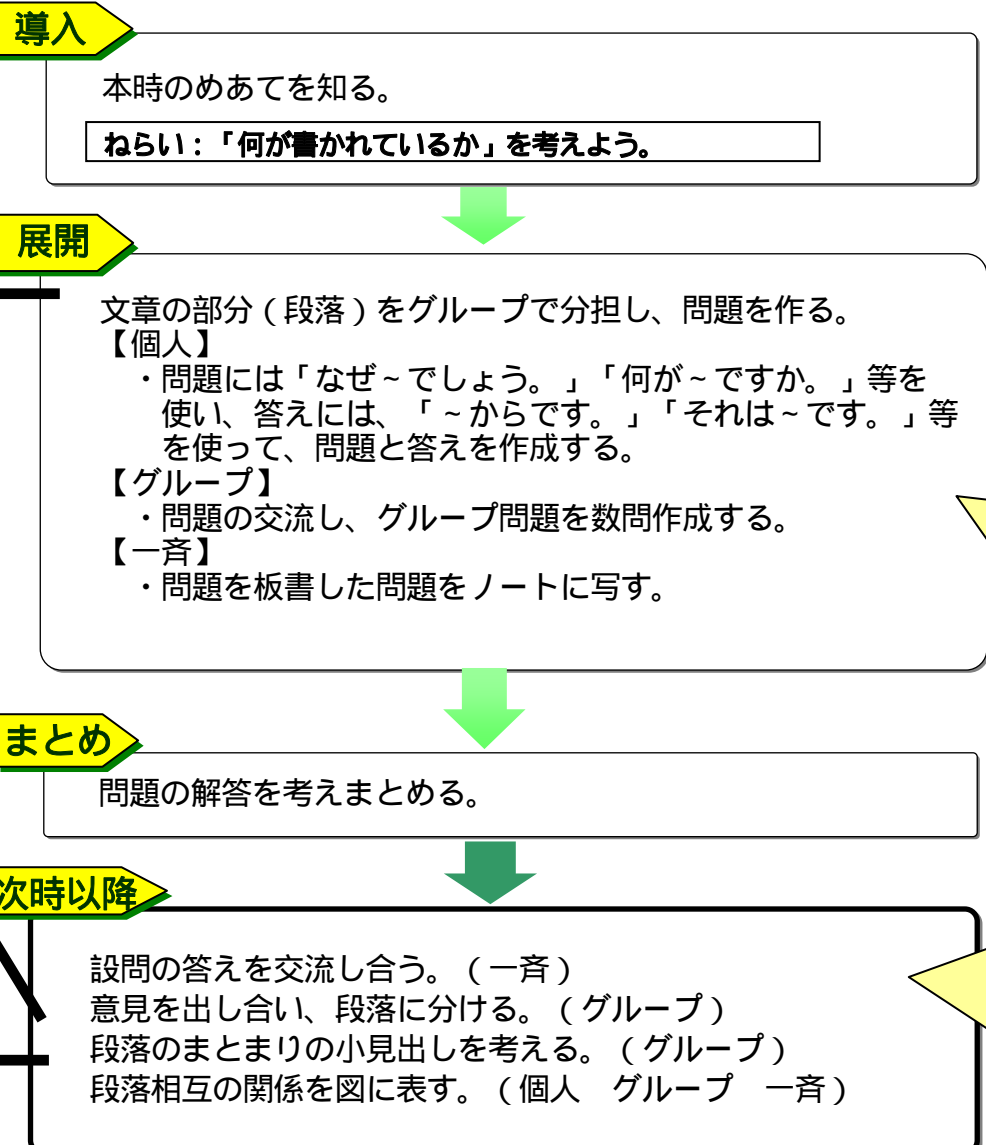
予想される「小見出し」の一例
(例)
・日本のセミの鳴き声の変化
・ニイニゼミとミンミンゼミの数の変化の原いん
・ニイニゼミがへってきた原いん
・セミに起きている大きな変化



単元の流れ



本時の流れ



国語力育成の視点

読むことや書くことを活用して考え力を育成するためには、主体的な活動やグループでの活動を取り入れることが効果的です。そのためには、それらの活動の目的をはっきりとさせるとともに、出されてくる様々な考えを活用しながら授業を組み立てていくことが重要です。活動に入る前の事前準備や事前の指示を具体的に行った上で、実施していきましょう。

視点①

個人やグループで問題とその答えを考えることで、主体的に「何が書かれているか」(内容把握)に取り組み、読んで考える力が育成されます。問題の聞き方、答え方を決めることで、基礎的・基本的な書く力も育成されます。また、第4次の教材「リサイクルより大切なもの」の書かれ方に関連付けて、発展的に書く力を付けることができます。

視点②

各グループから出された問題に答えることで、文章全体の内容を把握することができます。グループで段落を分けたり、小見出しを付けたりすることで、各段落に書かれていることや、相互関係を把握することができます。グループで段落相互の関係図を作ることで、主体的に文章の構成を考え、読むことや書くことの学習を発展的に深めることができます。